

希 望 の 丘

学校だより6月号
令和2年6月1日
舞鶴市立池内小学校
〒624-0806
舞鶴市字布敷120番地の1
TEL 0773-75-1242
FAX 0773-75-1266

教育目標 いきいきと学び 心豊かに 共に生きる児童の育成

知:進んで学び 自分の考えをしっかりと話す子

徳:人を思いやり 力を合わせる子

体:元気で体をきたえる子

1日1日を大切に

～ 大人はゆったりと安定して、子どもたちのストレス軽減を
起こっていることの事実を伝え、引き続き身を守る行動を ～

1学期も折り返しの6月となりました。年度当初の予定ならPTAや子育て支援協議会の総会、遠足、修学旅行、授業参観、家庭訪問を終え、子どもたちも地域・保護者の皆様と教職員との仲が深まってきた頃のはずでした。

本年度は新型コロナウイルス感染症対策で学校の休校が延長し、例年通りのことはできませんでしたが、5月20日より学校を再開し、子どもたちの笑顔が学校に戻ってきました。先月号でお伝えした通り「明けない夜はない 希望の朝は必ずやってくる」とポジティブに3密（密閉・密集・密接）を避けることや手洗い、消毒に励んできたことが報われた気持ちです。家庭での学習の様子や基本的生活習慣を崩さなかったことを聞くたび、保護者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいになります。度々、お子様の様子を聞かせていただく電話や連絡メールにも対応していただきありがとうございました。

学校再開できたとはいえ、集団生活であるため、まだまだ感染症対策は必要です。新しい学校生活様式（3密を避ける授業や休み時間等）で馴染みにくいかと思いますが、「やっと学校に来て嬉しい。」「友達と話したり遊んだりすることができる。」と嬉しい声が聞こえることが救いです。

給食の時間もこれまでと違い、全員前を向いての食事ですが、栄養士の「みんなと楽しくおしゃべりはできませんが、食べ物とお話しするつもりで味わって食べましょう。」という呼びかけに応じようとしています。

また、マスク・ハンカチ持参（予備用も1セット持たせていただくことを推奨）をお願いすると、22日は子どもたちが全員が持参し、そこに自分自身で命を守ろうと努力する意識の高さを感じました。準備いただいている保護者の皆様の後方支援に感謝申し上げます。教職員一同、子どもたちが帰校後、できる限りのことはやろうと養護教諭の声かけで校舎内の消毒に励んでいます。

5月20日からの午前中授業、25日からの短縮5校時授業という段階を経て、6月より通常授業となります。表面上は元気に見えても、3月から例年と違う生活の変化により、ストレスがかかっているかもしれません。気持ちの起伏が大きくなっていたり、感じやすくなっていたりしていないか、児童の心の健康を心配しています。私たち大人は、1日1日を大切に安定した態度でゆったりとかかわり、児童の頑張りを「ほめる・認める」声かけを増やすことが、一番大切ではないでしょうか。

学校再開と同時に、地域の見守りボランティアの方々も子どもたちに寄り添って登下校の安全に気を配っていただいています。私たち教職員も子どもたち一人一人の言動や表情に気を付け、必要に応じて話をし、心のケアに努めます。

池内の豊かな自然を感じて登校し、子ども同士で学び合う授業・共に過ごせる生活ができることに感謝し、学校現場の安心安全に努めたいと思いますので、学校や児童のことについてお気付きのことがございましたら、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

学 校 長
教 職 員 一 同



↑校門横のミヤマイボク



↑希望ヶ丘のハネツツキ



↑校庭のシロツメクサ



↑玄関前のムラサキカガミ

